

第28回 鹿児島県柔道選手権大会 (第60回九州柔道選手権大会鹿児島県予選)

実 施 要 項

- | | | |
|----|-------|--|
| 1 | 主 催 | 公益財団法人鹿児島県柔道会 |
| 2 | 後 援 | 鹿児島県教育委員会 公益財団法人 鹿児島県体育協会 南日本新聞社 |
| 3 | 期 日 | 平成30年2月3日(土)
※ 審判会議=9時00分
※ 開 会 式=9時30分 |
| 4 | 会 場 | 鹿児島アリーナ武道場 |
| 5 | 出場資格 | 県内で平成29年度の全日本柔道連盟登録済の者で、下記に示した人数以下及び主催者が特に認めた者とする。
① 各地区 鹿児島地区4名、その他の地区2名とする。ただし、川内地区、始良地区、肝属地区については自衛隊枠を別に2名設ける。なお、下記の②～⑦に該当するものは除く。
② 県 警 察 10名
③ 鹿児島刑務所 3名
④ 鹿屋体育大学 10名
⑤ 鹿児島大学 2名
⑥ 鹿児島国際大学 2名
⑦ 高体連 2名
⑧ 推薦 前年度の1・2位入賞者
⑨ その他、主催者が認めた者 |
| 6 | 競技規則 | (1) 国際柔道連盟試合審判規定(新规定)で行う。
(2) 試合時間は、5分間とする。
(3) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」以上として、得点差がない場合は、ゴールデンスコアで決する。
(4) 試合の方法は、トーナメント方式とする。 |
| 7 | 組 合 せ | 主催者において決定する。 |
| 8 | 表 彰 | (1) 第1位から第5位までを表彰する。
(第3位決定戦は行わない。第5位決定戦を行う。)
(2) 永年出場者を表彰する。 |
| 9 | 参加申込み | 平成29年12月8日(金)必着で、郵送及びメール両方で必ず申し込みすること。 |
| 10 | その他 | (1) 脳震盪対応について
ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
(3) 上位4名は、3月4日(日)に福岡武道館で行われる第60回九州柔道選手権大会の出場権を得る。但し、特別な事由がある場合は、この限りではない。
(4) 選手は、「スポーツ安全保険」等に加入しており、健康であること。
(5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
(6) ゼッケンは、必ず対角線にも縫い付けること。
(7) 当日は駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。 |

第28回鹿児島県柔道選手権大会 申 込 書

推薦地区又は所属団体名 ()

フリガナ 氏 名		年齢	歳	※ 職業	
全柔連メンバーID					
※現住所	〒 (自宅) TEL (携帯)				
本籍地	() 県				
※体格	身長 () cm		体重 () kg		
※段位	段 (平成 年 月 日昇段)				
※学歴 (最終卒業学校名を記入すること。現役の場合は学年記入。)	中学校 ()年生	高校 ()年生	大学 ()年生		
	出身小学校名 ()	出身中学校名 ()	出身高等学校名 ()		
※柔道経歴	※ 過去の大会での主な成績 (大会年度, 大会名, 戦績の順に正確に書くこと) 1 2 本大会の出場回数は今回で () 回目				

※印のところは、特に明記すること。